

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援あいほっぷ				公表日	令和6年12月 11 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	適切である 活動内容や利用者の年齢等により使用する 部屋を分け、密集しないよう工夫をして 適切である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	絵カードやイラストを部屋に掲示し、視覚情報を取り入れ、利用者が分かりやすいよう工夫をしている	バリアフリー化を今後前向きに検討したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の掃除はもちろん、消毒の徹底・こまめな換気を行い、心地よく過ごせる環境作りを徹底している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	個別ルームはないが、必要に応じて事務所等で個別対応を行っている	クールダウン室等、専用の個別ルームはない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	合同ミーティング他、デイリーミーティング等で職員間の話し合いを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者評価表を確認し、ミーティングにて情報共有・業務改善に向けた話し合いを行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月1回の合同ミーティングやデイリーミーティングの中で職員の意見を出し合い、業務改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	外部からの作業療法士による研修を受け、第三者目線での評価・助言をもらい、業務改善に繋げている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内での研修や外部での研修を、職員平等に参加できる環境が確保されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	(現在作成中)	(現在作成中)
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	保護者との面談後、職員間でデイリーミーティングを行い、全体で共有・客観的分析を行い、児発管が児童発達支援計画書を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員全体が作成会議に参加している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	デイリーミーティングでの共有の他、事業所独自の「療育指示書」に沿った支援を行っている(「療育指示書」とは「児童発達支援計画」に向けて作成された更に細かい指示・目標を記載している指示	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	幅広い視点で確認するよう努めている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	各項目に適切に設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員全体の意見も取り入れ、プログラムの立案を児発管が行っている	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	「療育指示書」を用いて、月毎にプログラムの見直しを行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	月1回の見直しを行っている「療育指示書」を用いて、利用者の個々の特性を見ながら、個別・集団を組み立てている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼時にリーダーが支援内容や役割分担を報告・確認し、職員全体で連携した支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	デイリーミーティングを行い、振り返りを共有（書類上にも明記）する また、場合により、ケース会議を行っている	職員のシフトに左右されることなく、書面等でも漏れのない共有を図る
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援に関する実績記録の徹底を行い、デイリーミーティングで支援の検証・改善に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的なモニタリング・支援計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	連携している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	併行利用や移行に向けた支援はもちろん、園や特別支援学校との間での情報共有と相互理解を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	同上	職員全体での相互理解までには至らない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			該当なし	該当なし
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			該当なし	該当なし
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			該当なし	該当なし
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		助言を受ける機会がないことから、今後連携を図りたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	保育所や園ではないが、地域の児童館での交流はある	系列事業所以外の園などとの交流はない為、今後検討したい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡ノートや引渡し時はもちろん、電話やメール等でも、状況を伝えあい、共通理解を持っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		今後検討したい	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明書等を用いながら、丁寧に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリング等で保護者・利用者の意見を尊重し、意向を確認する機会を設けている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	説明・同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	面談・モニタリング等で相談、必要な助言・支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者参加型のイベントを企画・開催し、多くの保護者が交流する機会を設けた (兄弟参加可)	保護者会自体は行っておらず、今後前向きに検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	迅速に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月のお便りの発行、HPブログ・SNS等で行事や活動の情報発信をしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	十分に留意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	周辺住民には挨拶と多少の交流はあるが、招待まではできていない	今後前向きに検討していきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルの策定・周知・訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPの策定、備え・訓練を実施	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	(該当児童無し)	(該当児童無し)
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	研修・訓練が行われている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	都度記入し、デイリーミーティング等で共有・検討している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	社内にて定期的な研修を行い、適切な対応をしている（委員会の設置・研修）	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	保護者に同意を得た上で記載 職員研修済み (身体拘束は行っていない)		